

浦添市在宅医療ネットワーク(浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー)
多職種意見交換会 アンケート集計

(開催日)平成29年7月20日(木)

・多職種意見交換会「自宅での癌患者の看取り」について (上間 進 先生)

(医師)

・基本自宅での看取りの方向で進めるのが良い。
・がん患者さんの在宅期間は短くて、症状の悪化など様々な問題が出てくるので自宅でのカンファレンスを開くのが大切。その為にケアマネジャーや訪問看護のリーダーに期待しています。
・医療をどの様に行うか。
・患者への職種を通じた対応。
・癌治療法への患者家族への教育。
・症状、不安への対応。
・本人に寄り添った医療、看護、介護を行う。
・毎回そうですが自分以外の職種の方の意見にはいつも新たな発見があります。家族間の話し合いに第三者が入って(医師が入ってもよいと思いますが)まとめるのも大事と思いました。
・症状のまとめと問題の整理が理解しやすかった。多職種から良い意見があり参考になった。

(看護師)

・本人がどうしたいか、意見を確認しそれを支援することが大事。
・在宅でターミナルを受け持ったことがないのですが今回ビデオ等を見て勉強になりました。
・多くの意見が出ました。
・発表まで時間が足りなかった。
・いろいろな職種の意見を聞くことで今後の支援にすごく参考になった。
・患者さん家族の不安を軽減にはやはり多職種との連携が大事だと感じました。
今回薬のメーカーさんやケアマネの方が多く家族と連携調整など行う立場で調整してもらって私達とも連絡が密になると思いました。
・勉強になりました。今後も在宅でのケアについて学びたいです。
・在宅での看取りについて参加された皆さん、多職種の方々から貴重な意見や経験談を聞かせて頂きました。今後も自分の職場に活かせたらと思います。
・告知のタイミング、本人の自己決定(残された時間の過ごし方)、多職種の連携(同じ方向を向いているか)、自宅での看取りのイメージがわからない。取り組む課題の大きさを感じた。
・在宅で看取るために支援体制を整える難しさ、本人の死生観や告知、治療の方向性等情報を共有し、多職種間でのフィードバックをしていく事が重要である事を学びました。
・自宅でのCaOtの看取りについて、様々な職種の方々の意見が聞けて良かった。

(保健師)

・グループワークを行うことで多くの方の意見がきけ、今後の支援につなげたいと思いました。

(薬剤師)

・「看取り」でそれぞれ異なったいろいろな意見があり参考になった。

(作業療法士)

・最近も告知なしで退院し、自他kに帰った方がいました。その時私は「告知していない」ということで注意を払ってしまい本人、家族になにもできませんでした。今後できる限り何が出来るか考え家族本人の不安を取り除けるよう知識をつけていきたい。

(理学療法士)

・私は病棟でしか働いたことがないので、多職種の実験談を聞いてとても勉強になりました。
今後訪問リハビリなど地域、在宅でのかかりが増えていくと思うので色々な意見を参考にしたい。

・一番多かった意見に情報の共有するツールの開発が必要であると思いました。Lineのように全ての参加者が同じレベルで情報を確認することも一つの方法と思いますがセキュリティの面で難しいと感じます。他の方法としては一番多く情報を持っている方で集約してそこにアクセスする方が良いと思います。

・今回、多職種の方たちと話せる機会がありとてもよかったです。意見交換した中で最も多かった意見が多職種の連携としての課題、本人さん、家族さんへのサポートでした。今回話し合ったことで課題や対策も見つかり今後の仕事に役立てていきたいと思っています。

・普段触れたくても触れられないような、目をそむけてしまっているような内容を話合う事ができた。
・勉強になりました。今回はこのテーマをもう少し掘り下げて「高齢者」、「壮年者」、「若年者」、「幼児」とかの年齢別の看取りについて考えてみたい。

・上間先生の事例報告は生々しくとても考えさせられた。グループワークは6人それぞれが活発な意見交換ができ有意義であった。異業種でも同様な問題意識を持っていることがわかって心強かった。

・多職種の方々と話すことで自分の職種とは違う目線での考え方や治療の進め方を知ることができました。どの職種でも共通してでてくるのは「連携」という言葉ですが、まだまだ多職種間でのコミュニケーションツールを作成していくことが今後も課題になると思います。

・一番議論していた所が多職種間の連携でした。他職種間で話し合う場が少ない。

(社会福祉士・CSW)

- | |
|---|
| ・医療、福祉の仕事を初めて3か月と経験が短いですが、グループの皆さんの経験や意見が聞けてとても勉強になりました。考えを深めていきたいです。 |
| ・情報共有の大切さを改めて考えました。 |

(主任介護支援専門員・介護支援専門員)

- | |
|---|
| ・毎月数名の看取りに関わっていますが、いろいろな意見を聴くことができよかった。 |
| ・ドクターの迷いや大変さが伝わってきました。 |
| ・最期がどのようにして(具体的に)看取っていくのか家族、本人がしっかり予想できるようにし、対応策までしっかり理解していけるようにしていこうと思います。 |
| ・改めて連携が大切だと思いました。連携がしっかりできれば介護負担の軽減、本人、家族の不安軽減ができる。 |
| ・がんの看取りの事例を通してお多職種の思いを聞くことが出来、今後のケアやチーム作りに役立てる事ができそうです。先生にも色々な意見を頂けたのでとても参考になりました。 |
| ・貴重なお話が聞けて大変勉強になりました。告知されていない患者さんや家族とどう向き合っていくといいのか？大変難しい問題だと思いました。本人の思いをしっかり聞き取る大切さも感じました。 |
| ・普段看取りという場面にあうことが少ないために(包括なので)、先生方も悩んだりしているんだとわかり自分自身がどうありたいか、どう生きたいかというのはしっかり考えておきたいし、家族とも話しておきたいと強く思った。 |
| ・やはり多職種連携が重要だと思いました。 |
| ・いろいろな観点での意見が聞けて勉強になりました。 |
| ・他事業所との連携、顔の見える関係性づくりが大切だと感じました。 |
| ・はじめての参加でした。グループワークで多職種のみなさんと意見交換ができて有意義な時間でした。 |
| ・いろいろな職種の意見大変貴重でした。職種による考え方、個人の考え方、様々で初めて考えさせられました。 |
| ・上間先生の「医療側とのギャップをどうめたらいいか」はじくじたる思いにとても誠意を感じました。ありがとうございました。 |
| ・たくさんの方の意見を聞かせていただけてとても勉強になりました。本人、家族が悔いを残さないよう努力したいと思います。 |
| ・ご本人やご家族の意見を聞きつつも、今回のがん患者さんに対しては「疼痛コントロール」は現在～今後についてDrから説明していただき、多職種が同じ方向へ向いていく事も大切だと思いました。人によって痛みは違う、「自制力」というのは無いという言葉が勉強になりました。 |

(介護福祉士・介護職)

- ・それぞれの職種の視点、気づきを聞くことで自分にはなかった考え方、支店を感じる事ができ良かったです。
- ・本日学んだことを自分の施設で共有しより良いケア、看取りが出来るように取り組んでいきたいと思えます。
- ・色々課題があつてひとつひとつクリアしていくことが看取りに繋がってケアができればいいと感じました。
- ・本人の意思、最期のあり方を改めて、勉強になりました。

(相談員等)

- ・多職種での情報共有の大切さ、家族、本院の意思の尊重の大切さ勉強になりました。
- ・看取りについて今一度考えさせられました。
- ・在宅で看取り、介護なさっている家族さん、難の介護、介助も出来ない中、手探り状態で頑張っている姿にはすごく頭が下がります。本人をかこまれてのケア、本人自身、家族様自身辛い日々を送られ、各職種連携でチーム合わせて頑張してほしいです。

(栄養士等)

- ・それぞれの職種の支店もありますが、共通で感じている課題もあることが分かりました。本日各グループから出た課題や改善方法が今後の研修会等で周知や実施につながるよう内容に組み入れていただくと良いなと思いました。

(その他) *医薬品卸、会社員等

- ・難しかったです。Drが悩むところを伺って今後学ぶべき課題を認識しました。つけやきばの学習では、多職種連携を学ぶ意義はないと実感しました。頭で学ぶことよりも心に響くものが強かったです。ありがとうございました。
- ・自身が経験した在宅介護の時感じた事をグループに葉新できてとても良かったと思えます。
- ・非常に勉強になりました。看取る側、看取られる側の貴重なご意見を聞かせて頂けた。
- ・今私にできる精一杯の事を考え行動していきます。
- ・疼痛コントロールなど。
- ・家族の意見としては…。ターミナルを伝えてほしくないと思えます。生きる、治る、という意思をもって家族のために生きてほしいと思ってました。ただ情報として「こういう状態になったらもう時間はない」ということは教えてほしい。本当は本人も家族ももう先は長くないと分かっています。
- ・現場の状況が確認できました。
- ・代替療法についてDrが否定的でなく患者さんへ選択させている事が分かった。
- ・家族支援の重要さ。薬剤療法の最新情報が必要。
- ・実際に現場でどのような事が問題となっているのか、どのような活動を行っているのか等、お話を聞く事ができ、とても参考になりました。